

令和2年度 第2回 港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

【日 時】	令和2年9月30日（水）午前9時30分から午前11時30分まで
【場 所】	港南区役所 6階 603号会議室
【出席者】	藤田会長、木村副会長、杉山副会長、福山委員、石川委員、谷本委員、穂永委員、石川委員、塩田委員、守分委員、本間委員、稲村委員、今富委員

【港南区協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所と一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成26年度から設置しています。

◆議題

- （１）港南区商店街連合会、港南区工業会における地域や区役所と協働している取組について
- （２）地域と事業者等が協働した取組事例紹介及び意見交換

◆内容

本間委員から【区商店街連合会における地域や区役所と協働している取組について】



港南区の子どもたちに区の花ひまわりを根づかせるため、区役所と協力してひまわり絵画コンクールを開催しています。今年度は約500点の応募がありました。入賞作品は各商店街や駅などに掲示をしています。

私の所属する丸山台いちょう坂商店街では、「丸山大ホコテン」を様々な方や団体の協力を得て開催しています。各商店会の会長は若い人が増えているので、ぜひ皆さまと連携し、様々な挑戦をしていきたいです。

稲村委員から【区工業会における地域や区役所と協働している取組について】



毎年こうなん子どもゆめワールドに焼き鳥のブースを出店しています。以前は隣に出店していた宮城県大崎市に協力して、餅つきのお手伝いをしていました。

また、ひまわり生活体験交流のキャンプファイヤーにも力を入れており、子どもたちの思い出になってほしいと思ってやっています。

これからも地域に貢献できるような活動をしたいと思っています。

講師内海氏のお話 【地域と事業者等が協働した取組事例紹介】



事業者と協働することで、地域の魅力につながる取組や、防災や見守りなどにおける困りごとの解決、ハード面の整備のような規模が大きく地域だけではどうにもできないことも解決に向けて取り組むことができます。

そのためにはお互いの意思疎通を交わし、本音で言い合える信頼関係を築きながら双方が納得いくまで話し合うことが大切です。

◆委員からの意見、感想【意見交換】（抜粋）

- ・事業者含め他団体との協働は参考になった。地域に持ち帰って良いものができるように取り組みたい。
- ・地域の夏祭りを地元商店会など様々な団体が協力してやっている。運営側に若い人が入り、横のつながりができたうえ、規模の大きなお祭りになり非常に良かった。
- ・地域によって行事やどんな事業者がいるかが異なるので、地域の特色を活かしてそれぞれの地域で何ができるか考えたい。
- ・様々な活動をしているが、それにプラスして考えたらまだできることがあるということを知った。
- ・事業者としても、皆さまで一緒にできることはやりたい。ぜひお声がけしてほしい。
- ・災害対策など、地域と企業の共通の話題から、一緒に取り組めることがあると良い。
- ・自分たちの目的をしっかりと伝え、双方にメリットがないと、なかなか話は進まない。
- ・地域も事業者も行政も一緒になって、地域がどうしたら盛り上がるかを考えたい。

◆まとめ 藤田会長



事業者との協働を含め、様々な団体と一緒に取り組む際に、相手方との合意が最も大切になってきます。関わる団体すべてにとってメリットがあるように、議論を積み重ねて関係づくりを行えば良いと思います。

《当日の様子》

